

(第3号様式)

## 学 位 論 文 要 旨

氏 名 加藤 弘正

論 文 名 両親の職業・学歴及び家計の年収と3歳児幼児の齲蝕有症率との関連

---

### 学位論文要旨

背景：齲蝕は、最もありふれた小児の慢性疾患の一つである。齲蝕のリスク要因に関する疫学研究は、齲蝕原因菌や、フッ化物応用、歯科保健行動に焦点を当てたものが多い。両親の社会経済的要因は、歯科保健への意識の高さや保健行動と関連しており、その結果、小児の齲蝕に影響を及ぼしていると考えられる。しかしながら、両親の社会経済的要因と子の齲蝕との関連に関する疫学研究はそう多くない。また、両親の教育歴や収入に基づいた研究が多く、両親の職業に焦点を当てた研究は少ない。本横断的研究では、両親の職業、学歴及び家計の年収と3歳児小児の齲蝕有症率との関連について解析した。

方法：平成24年5月～平成26年3月の間に、九州、沖縄45市町において、3歳児健康診査を受診した小児を対象に横断研究を実施した。68,527名の受診者のうち、62,449名の保護者に、質問調査票を配布し、6,576名より回答を得た。齲蝕の情報は、母子健康手帳に記載されている3歳児健康診査時歯科健診結果を、保護者が質問調査票に転記した。未処置歯または処置歯を有している場合、齲蝕ありと定義した。本研究に使用する変数に欠損データの無い幼児6315名を解析対象者とした。両親の職業分類は日本標準職業分類に従い定義した。性別、月齢、居住地、妊娠中の母親の喫煙、出生後の家庭内喫煙、母乳摂取期間、間食頻度、歯磨き頻度、歯科定期健診の有無、フッ化物使用状況を補正した。

結果：齲蝕の有症率は14.7%であった。父親の職業では、無職に比較して、専門的・技術的職業従事者、事務従事者、販売従事者、保安職業従事者、及び生産工程従事者で、また、母親

氏名 加藤 弘正

については、専門的・技術的職業従事者およびサービス業従事者では、齲蝕有症率低下と有意に関連していた。両親の教育歴については、両親とも教育歴が高くなるにつれて、齲蝕有症率は低下しており、両親の教育歴とう蝕有症率との間には有意な負の関連を認めた（傾向性  $P < 0.0001$ ）。家計の年収との関連では、年収の増加に伴って齲蝕有症率は低下しており、家計の年収と齲蝕有症率との間には有意な負の関連を認めた（傾向性  $P < 0.0001$ ）。

結論：今回の研究結果から、両親の専門的・技術的職業等、ある種の職業と小児の齲蝕有症率との間には、有意な負の関連があることが示された。また、両親の学歴及び家計の年収と齲蝕有症率の間にも統計学的に有意な予防的な関連を認めた。これは、欧米の研究を中心とした過去の疫学研究結果と一致している。しかしながら、本研究は横断研究であり、因果関係を述べることはできない。今後、メカニズムの解明も含め、両親の社会経済的要因と子の齲蝕との関連について、エビデンスを蓄積していく必要がある。

キーワード（3～5）	Cross-sectional studies, Dental caries, Occupations, Education, Income
------------	--